

2011 ハワイ・ロングステイ（14）

第14話「ハワイ四島を巡るクルージングの始まりで～す !!」

ハワイ四島クルージング「1日目」

Aloha !!

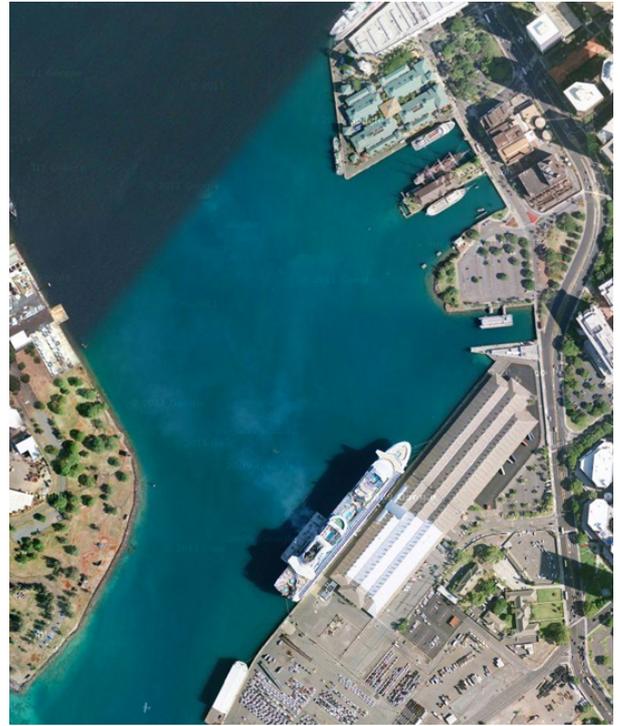
ハワイ・ロングステイが20日目となる今日からは、ハワイ4島を巡るクルージングに出掛けることにしているんです。この第14話では、その乗船から出港までをお



話しします

このツアーは「**プライド・オブ・アメリカ号で行く ハワイ4島周遊クルーズ**」で、ちょうど1週間の船旅なんです。その船が待つ港は、アラモアナの「**ホノルル港 第2岸壁**」で、乗客の**チェックイン開始時刻は 12:00 ...そして最終乗船時間は pm 6:30**だと案内書かれてあった。今朝は何時ものように起床してシャワーを浴び・朝食をとった後に荷物のまとめ作業に取り掛かった。

このクルーズに出掛ける際、忘れてはならない大切な物とは、まず「**パスポート**」...それに「**クレジットカード**」・そして**クルーズの「予約確認書**」である。この他に、寄港地での下船時などにチェックされるのが **ID「身分証明書**」である。なので、**パスポートのコピーを準備しておくことも大切ですね**。この **ID「身分証明書**」は、お店で買い物をする際にも提示を要求される場面があるので、**パスポートのコ**



ピーは、日常的に携帯しておくといいですよね☺

また、船に持ち込める荷物は、一人につき2個までとなっている。その荷物は、1個につき22kg(50ポンド)までと制限があるのも注意です。

「プライド・オブ・アメリカ号」が待つ岸壁は、私たちには初めて訪れる処...ましてや、ガイドしてくれる人もいない。なので少し心配になって、受付開始時刻は12:00とはなっていたが、それより1時間早い11:00には「クルーズシップ・ターミナル・ピア2」に入った。

すると、既に乗船受付が開始されていて、大勢の乗客が押し寄せていた。

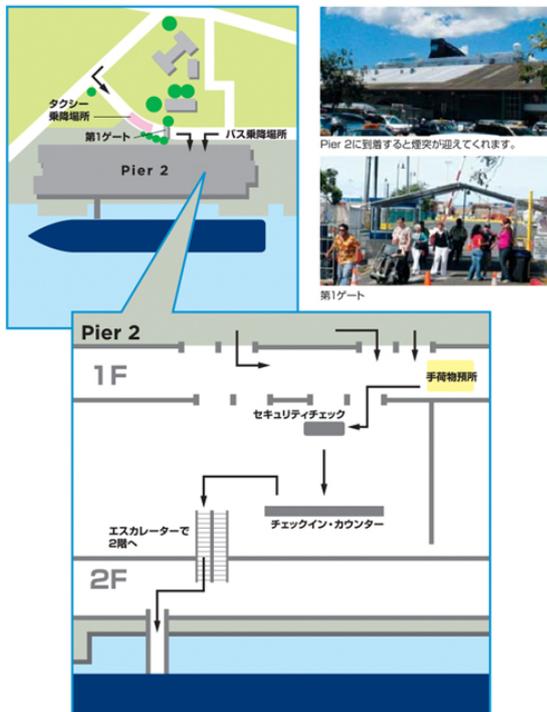
ターミナルに入るなりホットする間もなく、乗客たちの流れに呑み込まれるよう

発着港のご案内

ホノルル

港名 Port of Honolulu

住所 Pier 2/521 Ala Moana Blvd. Pier 2, Honolulu, HI96813



にチェックインのコンベアに乗せられた。

□まずは入り口近くで、係員に荷物を預ける。□

受付の総合ガイドをしているらしきグランパが立っていて、私に...「受付カウンターではサングラスを外してね!!」と言ってウインクする。...そうよねッ!! でなければチェックインは出来ないよねッ!! ...「わかったよッ!!」と返事をする、そのグランパが大きな手を差し出して握手を求めた。こうした、ちょっとした仕草に「ここはアメリカだ!」...と、フレンドリーさを感じたものだ。

□次に、セキュリティーカウンターでパスポートおよび乗船チケットを提示して、手荷物検査を受ける。そして最後に、チェックインカウンターに行き「パスポート」をはじめ「クレジットカード」を提出...ここで顔写真を撮られ、乗船カードを受け取り、手続きが全て完了となったのです。

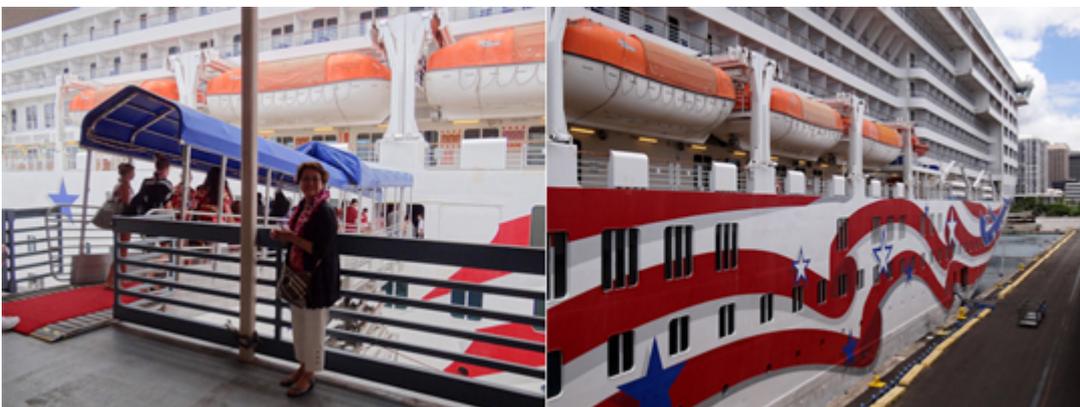
□船内への案内があるまで、この広いターミナルの中で暫くの間待たされた。ここでは、歓迎のハワイアン音楽の生演奏が行われていて、乗船を待ち焦がれる、乗客たちの心を落ち着かせてくれている。



□クルーズと言

えば、誰もが気になるドレスコード...だがこの船は、基本的にカジュアル船...なので、カジュアルで通したいという人はそれもOK...ごく一部のレストランに少しの服装の制限があって、入れない場合があるということを知っておく必要があります。その制限と言うのも、男性の場合は、「襟付きのシャツ」に「長ズボン」そして「シューズ」（運動靴はNO□を履いていればOK...と言う程度ですからご心配なく。...気軽に乗船できますよ

!!



□さあ !! いよ

いよ乗船で~す!! ...ご案内しましょう。

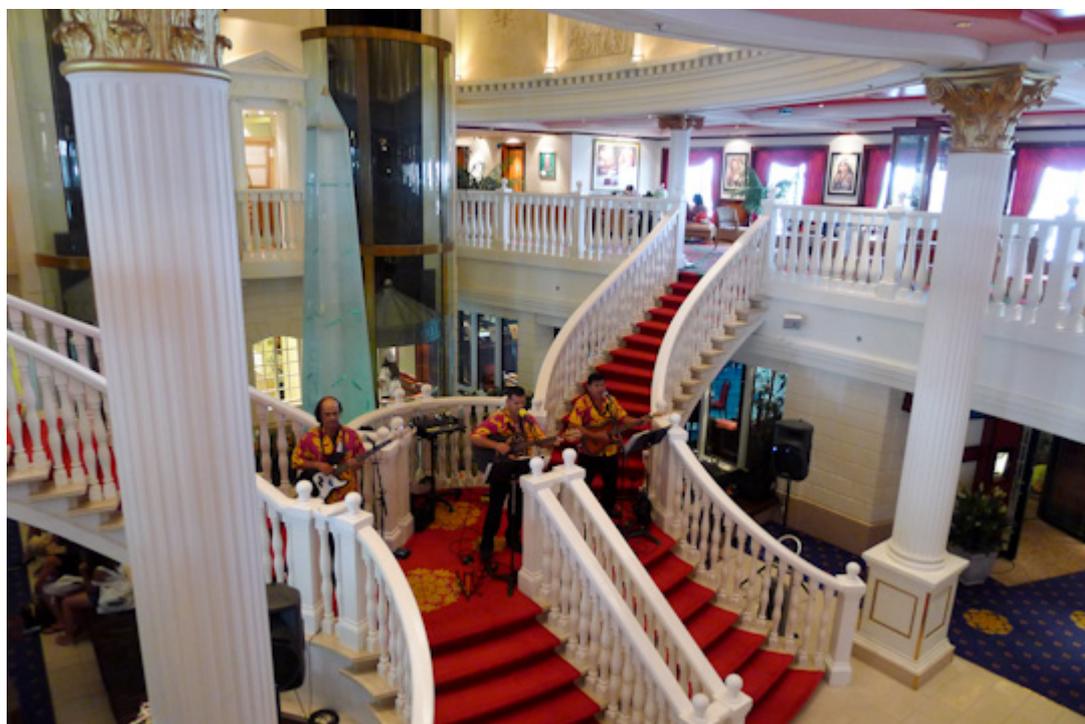
□乗り込んだ船内は、デッキ5階のアトリウムラウンジである。5階と6階が吹き抜けになっている。ここでも歓迎の生演奏が行われていて、華やかな雰囲気が漂っていた。



た。

□この5階にはレセプションをはじめOPツアーのシェアエクスカーションデスク□コーヒー□寿司バーなどのレストランもあった。その奥には、ショッピングのストリートやアートギャラリーなどもあった。

□この5階



ここで、船

の仕様をご紹介します。

□船の総トン数は81,000トン・全長が280.4㍎で全幅は32.1㍎です。乗客員数は2,138名 それに対して乗組員数は962名... およそ3,000人が乗っていることになります。2005.6月に就航した船だそうで、船内は比較的綺麗な船でしたね。客室数

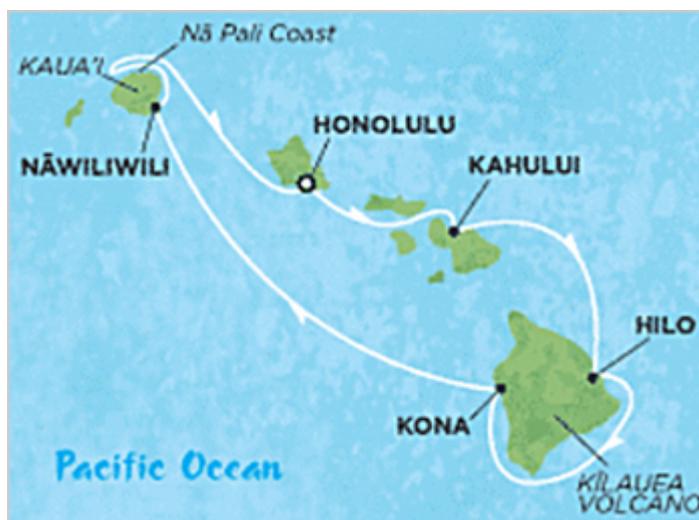
は1,069室あるそうです。船の高さは53桁もあって、最上階はデッキ14階となっています。この船には、**8つのレストラン**と**10のバーラウンジ**、そして**3つのプール**など、充実の施設があるそうですよ。



そして、こ

の船のハワイ4島巡りのコースをご紹介しますおきましょう□

ここオアフ島 ホノルルを土曜日の夜7時に出航して、**翌2日目の朝8時にマウイ**



島に入港です。

ここに終日停泊して**翌3日目の夕刻6時にマウイ島を出航し、4日目の朝8時にハワイ島のヒロに入港** 夕刻6時に**出航**となります。そして**5日目の朝7時にハワイ島のコナに入ります**。ここを夕刻の6時に**出航し、翌6日目の朝8時にカウアイ島に入港**□**翌7日目の午後2時に出航**するまで停泊します。

そして、**最終日の8日目（土曜日）の朝7時にホノルルに戻る**ことになっていました。

「ただ今、お部屋の準備中なので、暫く待つように」とのメッセージがあったので、

デッキ11階の後方にある「アロハカフェ」というヴィッフェ・レストランへ行き昼食をとることにしたんですね。...すると、既に大勢の乗客たちが、ビールやワインを飲みながら、楽しそうに会話を交わして食事している。

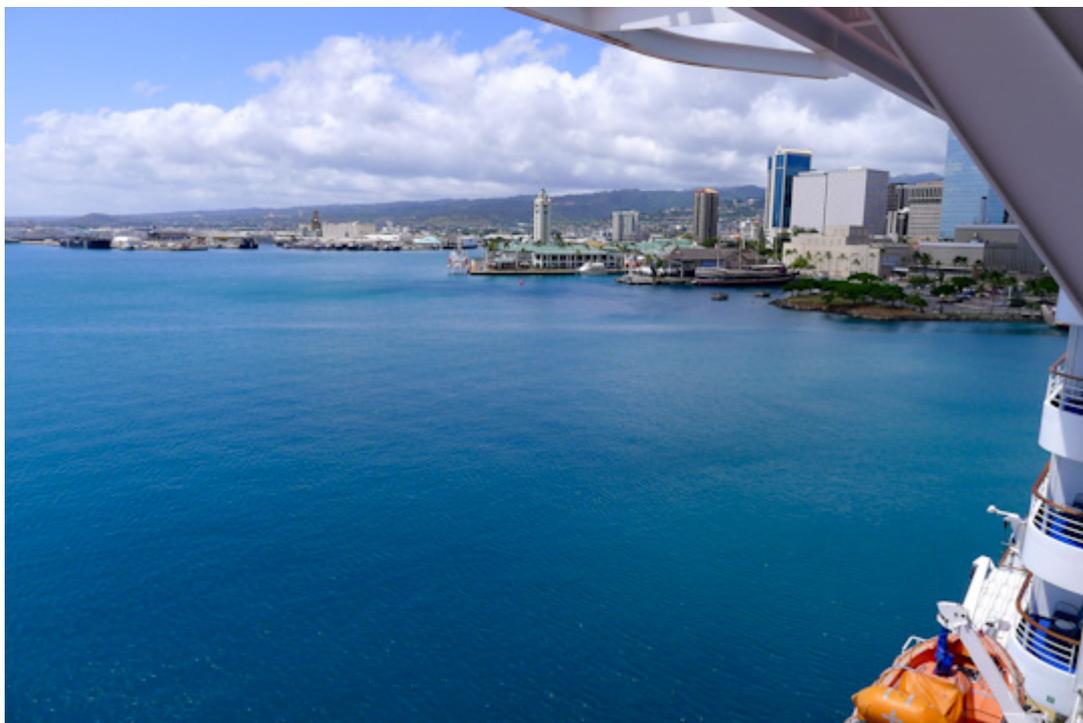
その乗客のほとんどが白人で、体型からして圧倒されそうな雰囲気でしたね。こうした集団の中に1日もいると、その雰囲気に馴れてくるから不思議で



す。

☐昼食が終わったところで、キャビンに入ることが出来た。手荷物を部屋に置いてホットひと休み...私たちのキャビンは船の左舷側で10556号室...ドアを開けて船室に入ると、ゆったりサイズのツイン・ベッドをはじめ、トイレ、シャワールーム、クローゼットなどがコンパクトに纏められ、収納スペースも十分。

海側のガラス戸を開けるとそこには広いプライベートデッキである。デッキに出るとアロハタワーが見えている☐



部屋でひと

休みした後、15:00からデッキ6階のシャッフルルームで、日本語説明会があるというのでそこへ行く。集まっていた日本人乗客は、私たちを含めて10名ほどと少ない。そこへ現れたのは、林さんと言う名前の「出航司令官」...すなわち乗組員のお一人である。何時もだったら、レセプションに日本人女性がいるそうなのであるが、た



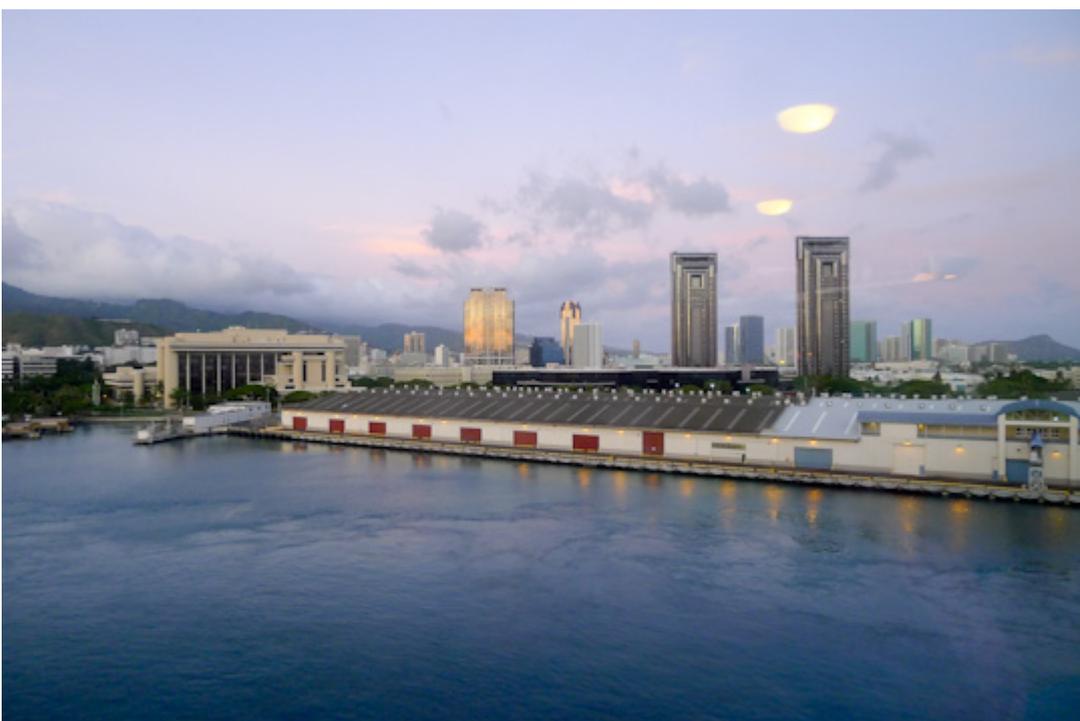


午後5時を過ぎて、デッキ11階の「アロハカフェ」で夕食をとる。ビールにワインを貰って食事を始めるが、気疲れが出てか？あまり食欲がなく、早々に部屋に戻る。...が、明日からのオプション・ツアーが気になって仕方がない。

なので、デッキ5階のツアーカウンターへ行き、取り敢えず2つのツアーを申し込んだ。

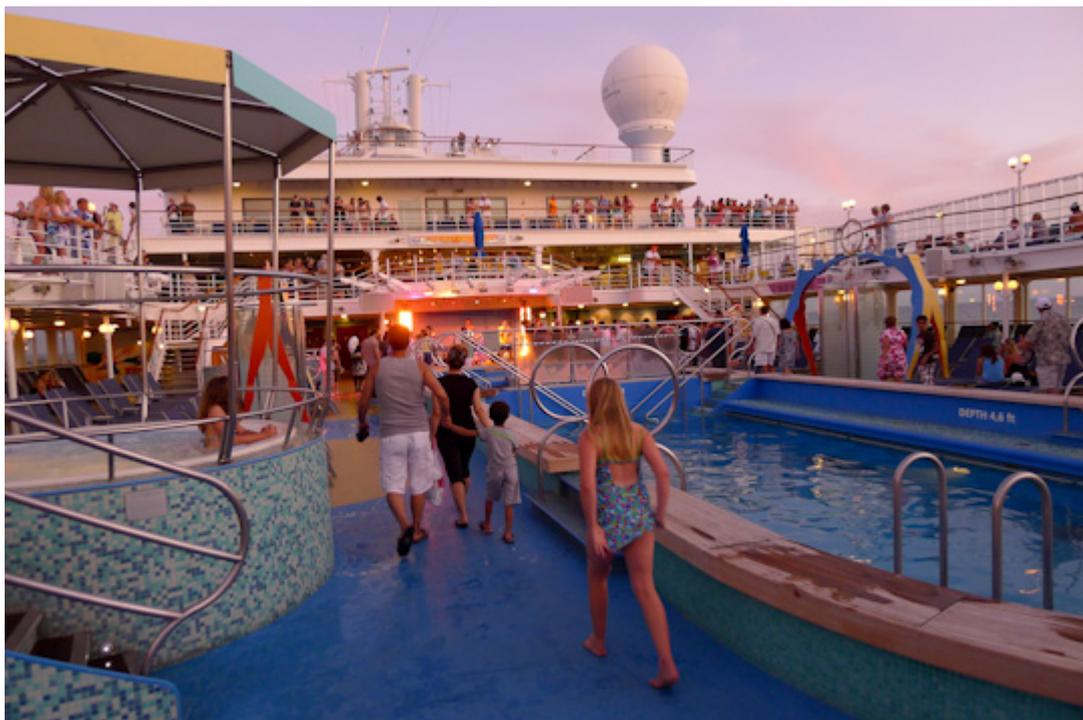
□この時、OPツアーのシェアエクスカージョンデスクは、乗船初日とあって混雑していた。出来れば乗船の前に、こうした予約は済ませておくことが大切だと実感したものです。

この頃 pm 7:00 船は静かに岸壁を離れて行く。



□いよいよハワ

**イクルーズの始まりです !! ...デッキ11階の中央のサウスビーチプールサイドではDJ
のミュージックと共に「セイルアウェイ・パーティー」が始まっていた。**





□デッキは大勢の乗客たちで賑わっている。美しいホノルルの夕暮れを満喫しながら、暫くデッキの風に吹かれていた。



そしてキャビンに戻った。私達のキャビンは左舷側...だからホノルルの街の灯りが遠ざかって行くのが、バルコニーからも綺麗に観られた。今日撮影した写真をパソコンに保存し、日誌を少しつけて早めに休んだ。...船が少し揺れ始めた...

□ではまた...Mahalo□ !!